

久勝小学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

研究主題
話をよく聴き、思考・判断しながら主体的に行動しようとする子どもの育成

①「聴く力」の育成
②向上心を持ち、主体的に学習する態度を育成するための「分かる授業」の創造

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 教務 低学年 中学年 高学年	安原 義子 東 枝澤	剛 督人 誠子 恵子 申代	教頭 小林 秀樹
---------	----	-------------------------------	---------------------	---------------------------	----------

校長
安原 剛



(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 漢字の読み書きや整数の四則計算などについては、ある程度の定着が見られる。	①人の話をしっかりと聴き、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ②毎日の宿題や音読をきちんとしてることができる。	①「人の話や意見を最後まできちんと聴くことができる」と答える児童の割合が80%以上 ②全国調査・ステップアップテストのA問題で平均正答率が県平均以上			
課題 基礎的・基本的な内容が身につけていない児童もあり、学力に個人差がある。	①学校生活のあらゆる場面で、「聞き方・話し方名人」をしっかりと活用する。 ②家庭学習カードを活用する。	①常時声かけをしながらの意識づけ、「チェックシート」を用いて、年間5回のチェック ②家庭学習カードのチェックを年間5回行う		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ グループ学習で意見を交換したり、まとめたことを発表したりなどの表現活動に意欲的である。	①人の話を考えながら、正しく聴くことができる。 ②自分の考えを根拠をもちながら、道筋を立てて書いたり話したりすることができる。	「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは得意」と答える児童の割合が80%以上			
課題 自分の課題や目的に応じて聞き取る力、課題解決のために必要な情報や知識・技能を選択し活用する力、筋道をたてて説明する力に課題がある。	①聞き取りトレーニングを行う。 ②全学年共通の「学習の流れ」の中に、グループ活動を入れる。また、ホワイトボードを活用する。	①モジュールの時間等を活用し、各学級で月2回以上実施する。 ②算数の学習に、できるだけ毎時間グループ活動を位置づける。また、各学級週1回以上ホワイトボードを使う。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 与えられた課題や方法・手順がわかる学習には真面目に取り組むことができる。	①自分に自信をもち、学ぶ楽しさや喜びを感じながら課題や自主学習に積極的に取り組むことができる。	「①難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」や「②国語や算数の勉強が好き」と答える児童の割合を80%以上			
課題 自ら課題を見つけ取り組んだり、広げたりする意欲に課題が見られる。	①「分かる」授業の確立をめざして、全学年で共通した「学習の流れ」を作成し、実施する。 ②3年生以上の全児童に、「めあてとふり返し」を記入しながら行う家庭での自主学習を実施する。	①算数の「学習の流れ」を作成し、全学年で毎時間取り組む。 ②毎日担任が自主学習をチェックする。「お手本ノート」を掲示する。		評価	次年度における改善事項

平成27年度 学力向上ロードマップ



